

白山ふるさと文学賞

第十一回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生5・6年 作文の部 優秀賞

「私の将来の夢」

広陽小学校六年 鶴田 羽絆

私は、将来カメラマンになりたいと考えています。カメラマンになりたいと思っただけは、3つあります。

1つ目は、写真を撮ることが、もともと好きだったからです。私は、昔からお花が好きで、たまに写真をとっていました。このことから、好きな物、興味のあるものなどの写真を撮っているうちに、カメラでとることが、とても楽しいことに気づいたからです。

2つ目は、自分の世界をもっと広げたいと思っただからです。カメラマンの仕事は、多くの人に出会える機会だと思っています。自分の知らない世界で活やくしている人に、出会えるかもしれないし、行ったことのない場所に行ったりと、仕事を通じて、自分の世界をもっと広げることができると思っただからです。

3つ目は、写真を通じて、人にメッセージを伝えたいからです。文字だけでは伝わりにくいことも、写真によって、その物や状態がより分かりやすくなることもあります。例えば、いかに自然が豊かかを多くの文章で説明するよりも一枚の写真を見る方が伝わることもあります。また、世界で起こっていることを、実際に見ることができない人にも、私がつた写真によってその場の楽しさ、悲しさなどを伝えることも、できると思っただからです。

私が思う、カメラマンの魅力は、3つあります。

1つ目は、いい写真がとれた時の、達成感だと思います。私は、よく写真をとっているけれど、ブレてしまったりなど、うまくいかなかったら『もういいや』などと思ってしまうことが多いけど、自分の満足いく写真を撮ることができた時、『ようやく上手にできた』という達成感を味わうことが、できるからです。

2つ目は、誰かの一生の宝物として、仕事が残ることだと思えます。写真は、人生の記念として残すことができる役割をもっていると思っています。カメラマンは、七五三、入学式、卒業式、成人式、結婚式など、人の人生の大切なタイミングに立ち会い、その人の思い

出を自分の手で形に残すことができると思っただからです。

3つ目はやっぱり、自分がさつえいした写真によって、人を笑顔にできるのか、人の心を動かせることが、できるのがカメラマンの一番の魅力だと思います。写真が雑誌やポスターなどにのって、多くの人の目に触れたり、誰かの一生の宝物として、大切にされ続けてもらえるのも、カメラマンの魅力です。

私が、カメラマンになるためにがんばっていることがたくさんあります。私が、主にならばっている中の3つを紹介します。

まず1つ目は、カメラの勉強です。カメラマンになるためには、カメラの仕組み、カメラの使い方を勉強するのが、1番大切だと思っています。もし、カメラマンになつて、カメラの使い方が分からないと、何も写真がとれなかったり、キレイに写真を撮ることが、できなかつたりなど、大変なことが多いと思うから、今カメラの勉強をがんばっています。

2つ目は、何でもチャレンジをすることです。よく、何回もチャレンジすることが大切だというし、失敗を重ねると、だんだん良い写真がとれると思っだし、すぐにやめてしまうと、なかなか良い写真がとれないと思っただからです。

3つ目は、自分一人で考えて行動することです。カメラマンは、一人で、考動することが大切みたいです。私は友達といっしょに行動することがとても多いので、なるべく一人で考えて考動できるようにしていきたいです。

わたしはこれからも、カメラマンになるために、カメラの勉強や学校などで、考えて考動する力、何度もなくさんチャレンジする力を意識して、身につけていきたいです。

私が、もしカメラマンになったら、人を笑顔にする写真を撮ること、誰かが大切にしてくる写真を撮られるように、がんばっていきます。